

降壇

藤岡 文六

國際労働會議ノ問題ハ私ニ取テ一番重要ナルハ硝子工ノ問
 題アリモナク去ラハト云テパン焼工ノ問題アリモナイカアラス私
 等ノ一番尊イ團體ノ問題アリラス然ルニ此カ鈴木有長
 ノ提案ニ係ルル比ノ問題ハ亦幸ニ理ヲ會ニ委仕セラルニ至ラ
 スカアラス比ノ國勢救ハ労働者自身ノ力ニ依ラズハ確得ス
 ルトハ實業ナインカアラス即チ國際労働會議ハ其専クノ割
 合カ政村側ニ労働者側一、資本家側一、割合ニナリ居
 ルモアラステ總テノ問題ハ資本家ノ考ノ如クナク昔イカ
 リ又從テ労働者ノ勝利ハムカシイカアラス
 而シテ極テ巧妙ニ葬リ去せんカハ吾々ハセメテ労働者ノ
 意見大カモ共界ノ人ニ知ラセイト思ヒラテ鈴木會長ヲ

送ラカカアラス今吾政府ハ國際労働會議ニ於テ労働組
 合ヲ認メテ居ルカ如キ事ヲ吐テ居ルカ迄警共他ノ法令ヲ
 以テ組合ヲ認メカハ政策スルカ如キハ羊頭ヲ掲ケテ肉ヲ
 食ハル策トモ云フ又モカアラス元ノ警保局長ハ迄警ヲ
 稱シ正業ノ名ヲ付ルト云ヒシレタカ大改市電ノ爭議ニ
 於テ之カ為メ犠牲者ヲ出シ改進黨議ニ於テ此等モ
 之レニ料ヤレントシタテアラス而シテ組合ヲ壓迫シ居ルカ
 アラスガ之カ撤廢ハ國際労働會議ニ頼ヨコトナリ理
 合ノカニ依テ一日ニ早ク解決セナケハハナイト思ヒラス考
 フニ此外國ニ於テハ數年ノ會費ヲ徴收シ居ルカ労働組合
 ハ之ヲ税金ヲ納ムルカ如ク思ヒ居ラス故ニ各種ノ施設ハ完全ニ
 行ハレテ何レヲ至ラザルモハナイカアラス諸君モ此ハクハ
 比ノ感ニシテ又テ會費ヲ納メ樽々組合ノ發展ノ為メニ努力